

## 主任としての報告＝レポートって 本当にKYや気を付けたことだけなの？

**組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！**

乗務を終えてホットする間もなく最後の大事な仕事、退出点呼が待っています。点呼では主任としての報告（＝レポート）がない、主任として仕事をしてない、業務指示に従っていない、と執拗に迫る助役によって時間が超過させられています。何としても「特になし」では気に入らないということです。

所長は昨年、新しい人事・賃金制度と乗務報告書の色変更に合わせて「主任として社員の模範となる乗務報告書の作成に取り組みましょう」と言いました。理由は、「乗務中の出来事を報告するに留まらず今後のダイヤや車内サービス、乗務員の運用計画などにも反映できる」です。

一見すると乗務報告書は重要ですよ、主任が手本になって下さい、と言っているように見えます。本当に、言いたいののは乗務報告書の重要性と手本だけなのではないでしょうか。

**新幹線では主任レポートを乗務報告書に記載**  
**組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！**

昨年の7月以降、所長が強く意識して「主任として…」と言いだし、その後も度々所内誌で、主任が「特になし」と報告することに触れています。これは、新しい人事・賃金制度、社員の「あるべき姿」に基づくのだと言っています。

昨年7月に出され、今も掲出されている「主任層による報告の充実」という所長掲示に、その想いが端的に出ています。

『管理者の補佐業務として、業務管理、社員管理に関わる事柄全般について「あるべき姿」にてらしあわせ、主任の業

務能力向上、職場の総合力向上を図ることを目的にし、』とあります。その、社員の「あるべき姿」は「能力向上の方向性を定め、目標を設定すべきかについて、文章の形で指針を示したもの」「迅速・正確かつ要点を押さえて報告できる」あるいは「後進を指導・育成できる」と説明があります。まさに、自らが目標を立て、その目標に向かって走れ、ということではありません。まさに、目標管理と相互監視の「あるべき姿」です。

ところで、在来線や車両所、駅などでは「主任レポート」として様式を整えた報告用紙で提出させられていますが、新幹線職場では「乗務報告書に記載」となっています。

## **頭に「主任として」が付いているところが、みそ組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！**

東京の運輸所以外では「主任レポート」がどのようなになっているか知っていますか。特徴点を少しだけあげてみます。

駅は勤務毎に、車両所や在来線は毎月5日までに前月分を作成して、担当助役に提出し、報告内容は「いつ、どこで、誰に、何を、どのようにしたのか、その結果どうなったのか」「同僚、部下、後輩社員への指導・アドバイス（成果、能力、態度など）」「個人目標の進捗状況」等があります。

車両所では幾つかの具体例が示され、中には、「東海太郎、7月10日13時05分、検修員詰所で、自分が、コンプレッサーのフィルター取替作業が十分理解できない木村車両係に自分で作成したマニュアルでポイントを説明した。結果、木村車両係は一人でフィルター取替作業ができるようになった」というものがあります。

大阪では乗務報告書に『「主任として業務に取り組んだ内容」欄については、該当事項がない場合は「特になし」等を記載すること』となっています。

職場によって随分違いがありますが、車両所の具体例が主任レポートの神髄を見事に現しています。ようするに、乗務報告書の重要性や手本、報告の仕方の問題ではないということです。「同僚、部下、後輩社員への指導・アドバイス

（成果、能力、態度など）」等を求めているのです。所長が言うように「報告」の頭に「主任として」が付いているところが、みそなのです。

## **組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！ みなさんのことを「主任として」報告しても良いですか？**

助役は「KYでも良い、気を付けたことでも良い」と言っていますが、いつまでもこのままだと思いますか。在来線や車両所、駅では考えられない「主任としての報告」です。まずは、乗務報告書に何でも良いから書かせる、報告させることからスタートしているのを見るのが妥当だと思いませんか。

KYや気を付けたことを書くと次は、車両所の「東海太郎さん」の様な報告を求められます。これは思い過ごしではなく「同僚、部下、後輩社員への指導・アドバイス（成果、能力、態度など）」を報告させられます。

## **組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！**

みなさんの乗継時の状況や手歯止をしている様子、そして車内巡回や改札の状況を逐一、「良かった」「悪かった」と報告しても良いですか？ 報告されたいですか？ このことを具体的にイメージしてみてください。これでは「同僚、部下、後輩社員」との会話が全くなくなってしまうです。

しかし、わたしたち東海労は、動く監視カメラにはなりませんので安心してください。所長は「特になし」と報告している乗務員に対して「まわりの多くの人たちに迷惑をかけている」と言っていますが、本当にそうでしょうか。わたしたち東海労組合員は乗務報告をし「主任としての報告は？」と聞かれれば「主任としての報告は特にありません」と言っています。にもかかわらず「書いてください、書かないんですね、指示に従わないんですね、業務指示違反です」を繰り返して点呼を引きのばしているのは助役です。「まわりの多くの人たちに迷惑をかけている」のはまぎれもなく助役です。

## **組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！ 動く監視カメラにはならない！ と言いましょ**